

櫻井靜 しづか 民権運動家、政治家。安政四年下總國香取郡生れ、明治二十八年八月二十五日歿（八五—一九五）。舊姓吉川、上總國武射郡の地主櫻井家の養子とこなる。明治十一年各村縣會議議長宛「國會開設懇請協議案」を送附、また私擬憲法草案を起草して發表。翌年東京の地方聯合會創り事務所を設けると、集會條例により解散せられる。十四年「總房共立新聞」を創刊。のち縣會議議員、衆議院議員。著書「神人論」（明治二十八年二月）二十八日十葉・頁刊）。土屋龍之助著「總洲櫻井靜先生略傳」（大正十五年八月二十日十葉・菅生定祥刊）、佐久間耕治「櫻井靜研究―總房共立新聞社主のころ」（昭和五十年六月）二十五日「房総の郷土史」第三號所収）がある。

